

2024年3月期 決算説明会（2024年5月29日開催）質疑応答要旨

Q. 北海道や熊本などをはじめとした IT 半導体工場等への派遣動向を教えてください。

A. 製造系は当社子会社のキャリアリンクファクトリー(株)が担っております。キャリアリンクファクトリー(株)は外国籍労働者の方の比率が高く、ご質問いただいた半導体工場などにつきましては、現在は日本人を中心として募集されていると聞いております。ただし、当社グループも熊本に拠点を設けておりますので、今後、日本人の募集が進まない際には、外国籍労働者の方への需要が高まることが期待されると考えております。その際には、積極的に行動いたしたいと考えています。

Q. 2024年3月期の営業利益率が落ち込んだ理由を教えてください。

A. 主な要因は2点です。

- ・ 1点目は、2023年3月期には BPO 大型高収益案件を複数受注していたことから、売上総利益率は 27.4%となり、2022年3月期の売上総利益率 21.9%と比較しても高い利益率でした。これに対して、2024年3月期は、2023年3月期に受注した BPO 大型高収益案件が終了したことに加え、BPO の一部案件において、一般競争入札による受注者選定などにより、受注価格の低廉化等の現象があり、売上総利益幅が低下して売上総利益率は 20.8%となりました。
- ・ 2点目は、2024年3月期は、登録者募集費などを中心に販売費及び一般管理費の効率的運用や節減に努めたものの、一方で、BPO 業務において DX 化推進の一環としての汎用システム開発及び営業開発などの分野においてプロ人材の採用推進等を実施したことなどから、営業利益率が前期比▲7.0%の 7.5%となりました。

Q. 前回業績修正の要因となった市場環境変化はその後も続いているのでしょうか。

A. その傾向は続いており、今後も暫くは続くものと考えています。

中期経営計画に関しては、2024年3月期に起きた市場環境変化が日に復さないことを前提として作成しております。2024年3月期においては「ラインナップの充実」と「業務効率化」等を推進してまいりましたが、2025年3月期から 2026年3月期にかけては「更なる品質維持向上」や「DX 化の推進」等、長期を見据えた競争力の向上に取り組み、市場環境変化に対しての免疫力を一層高めた体制構築を図ってまいります。